

令和6年6月3日	
所 属	環境創造課
所属長	宗和 素子
電 話	06-6489-6301

「尼崎の自然ハンドブック」の発行について

1 概要

尼崎市は、生物多様性とはなにか、こどもから大人までわかりやすく漫画で解説するとともに、本市の自然や市内に生息・生育する生き物たちをまとめたハンドブックを作成しました。

尼崎市生物多様性地域戦略の策定にともない、令和4年度に市内の生物調査を実施したところ、2,233種の生き物を確認しました。

本ハンドブックではそのうち、市民に親しみやすい種など106種の生き物を掲載しています。

また、「公園」「川」「田畑」などの場所ごとに生息・生育する生き物をまとめており、本ハンドブックを持って、尼崎の自然へ出かけられるようになっているとともに、場所ごとの自然との親しみ方（虫の取り方など）や、市民が参加できる活動なども紹介しています。



2 規格

A5版 34ページ（表紙・裏表紙含まず）

3 入手・閲覧方法

(1) ホームページ

URL: https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/si_keikaku/1037394.html

ページ番号: 1037394

(2) 無料頒布

環境創造課（本庁中館9階）及びあまがさき環境オープンカレッジ（南塚口町2丁目1番2-402号）にて1人1冊まで無償頒布しています。（2000冊/無くなり次第終了）

以 上

あまがさき

しぜん

尼崎の自然

ハンドブック



ヒメボタルくん



デンちゃん

令和6年3月
尼崎市

い もの
Q. なんの生き物のシルエットかな？あててみよう！

ヒント
い もの
p.02 にのっている生き物たちだよ

せいぶつ たようせい
生物多様性とは



せいぶつ たようせい おんけい
生物多様性の恩恵



せいぶつ たようせい きき
生物多様性の危機



私たちにできること

① 体験しよう

さわったり、聞いたり、匂ったり、
生き物たちの素敵な世界を
のぞいてみよう！

このハンドブックを持って
あまがさき みちか しぜん で
尼崎の身近な自然に出かけよう！

公園	15ページ
川	19ページ
かはりん 河畔林	23ページ
たはた 田畑	27ページ
すいり 水路	29ページ
うみ 海	29ページ
うんが 運河	

② 選ぼう

MSC「海のエコラベル」
海のエコラベル
MSC認証
www.msc.org/jp

FSC®
森林保全に
つながる製品の
マーク

レインフォレスト・
アライアンス認証
ひと しぜん よ
人と自然の良い
未来につながる
農法で生産され
た製品のマーク

有機JAS
のうやく
農業などに頼
らない食品の
マーク

かんきょう
いろいろな環境ラベル

かんきょう
環境ラベルのついた
商品を選ぼう！
しょうひん えら
商品を選ぼう！
かんきょう はいりょ
環境に配慮をした商品に
ついてのマークだよ

エコバックも
忘れずにね

あまがさき やさい
尼崎でとれた野菜や
旬のものを食べよう

あまがさき やさい
尼崎でとれた野菜を
食べることで、
あまがさき たはた
尼崎の田畑と
そこにすむ生き物を
まもることができるね

あまやさい

③ 伝えよう

自然のすばらしさを
みんなに伝えて
生き物好きを増やそう！

虫とり
したよ！

はっぴようかい
発表会

EsEsEs SNS

いいね
いいね
いいね
いいね

④ つながろう

いろいろな人とつながることで、
一人では守り切れない自然を
守ることができるんだ。

ちいき かつどう
地域の活動に
さんか
参加してみよう

かんさつかい
観察会

かんきょう
環境イベント

かんきょう
環境イベント

かんきょう
環境イベント

ほか
他にも、
ガーデニングをしたり、
ちきゅうおんだんか たいさく
地球温暖化対策に
と取り組むのもいいね

グリーンカーテン

せつでん
節電

うちずい
打ち水

わたし
私たちにもできることが
たくさんあるんだね。

やってみよう

あまがさき しぜん むかし いま
■ 尼崎の自然の昔と今



ところで、
あまがさき しぜん
尼崎に自然ってあるの？

いま すく
今は少なくなっちゃったけど、
むかし しぜん
昔は自然がいっぱいで、
のうぎよう ぎょうぎょう さか
農業も漁業も盛んだったんだよ

のうち しめ みどりいろ ぶぶん
農地を示している緑色の部分が
たくさんあるね。
かいがんせん いま かたち
海岸線も今の形とちがうね。



すなはま しおひが たの
砂浜で潮干狩りが楽しめました。(庄下川河口)
あまがさきしりつれきしはくぶつかんあまがさき
【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】



う こえ なつ らうぶつし
イワシを売る声は夏の風物詩でした。
あまがさきしりつれきしはくぶつかんあまがさき
【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】

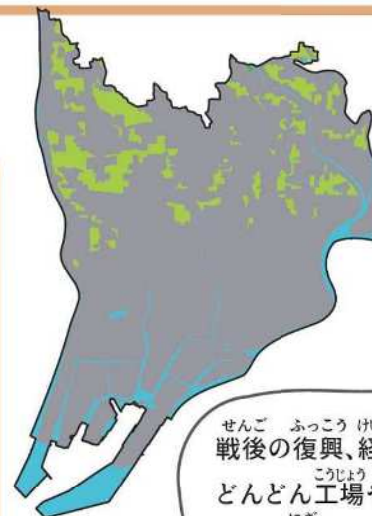


ふ ぐるま た みず い
踏み車で田んぼに水を入れています。
べつしやむら ひがしほんまち
(別所村(東本町))
あまがさきしりつれきしはくぶつかんあまがさき
【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】

あまがさき みずべ ゆた さかな かい
尼崎は水辺が豊かで、魚や貝も
と 取れたし、川で洗濯もしていたよ

しぜん せいかつ みちか
自然は生活と身近
だったんだね

いま
今から100年
まえ



いま
今から50年
まえ

せんご ふっこう けいざいせいちょう
戦後の復興、経済成長とともに
こうじよう いえ
どんどん工場や家ができて、
まちは賑やかになったけど……

のうち
農地がほとんどなくなって
しまったんだね……



のうち 農地にどんどん住宅が建てられました。
はんきやうむこのそうえきしやうへん
(阪急武庫之荘駅周辺)
あまがさきしりつれきしはくぶつかんあまがさき
【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】



こうじやうない みどり う
工場内に緑を植えるルールを作りました。
こうじやうりよくか ようす
(工場緑化の様子)



ごみていっぱいだった場所をコスモス園に
むこがわひげ わた えん
しました。(武庫川髭の渡しコスモス園)

なか のこ た
まちの中には残っている田んぼや
すいろ みちか みどり ふ
水路もあるし、身近な緑を増やすために
こうえん つく こうじよう いちぶ しょくぶつ
公園を作ったり、工場などの一部に植物を
う
植えたりしているよ。

のこ しぜん あたら しぜん
残された自然と新しくできた自然の
りようほう あまがさき
両方が尼崎にあるんだね。

げんざい
現在

あまがさき ■これからの尼崎



あまがさき い もの ■ 尼崎の生き物



あまがさき きしょうしゅ ■ 尼崎の希少種

(例)



デンジソウ

葉が漢字の「田」に見えることが名前の由来。開発や汚染で減っている。

このマークが付いている生き物だよ！



きしょうしゅ ● 希少種とは

希少種とは、人の活動によって、すみ場所やえさが減ってしまい、このままだと見られなくなるおそれがあると心配されている生き物です。

国や兵庫県では、レッドリストとして見られなくなるおそれがある生き物をまとめています。尼崎市でも見られなくなりそうな生き物を希少種として、全部で128種を選んでいきます。



僕も尼崎の希少種に選ばれているよ！

希少種がずっと尼崎にいられるようにまも守っていかないとね



あまがさき きしょうしゅ けんさく
「尼崎の希少種」で検索

せかい きしょうしゅ ■ 世界の希少種



世界では3万種以上の生き物が、見られなくなるおそれがある生き物とされています。その中にはホッキョクグマやジャイアントパンダなど有名なものから、昔はどこにでもいたメダカなども含まれています。

あまがさき しゅ
尼崎のつながり種

(例)



ニホンアマガエル ◆ (夏)
大きさ 20-45mm。緑や灰色など、環境の色に合わせ体の色を変化させる。

このマークが付いている生き物だよ！



●つながり種とは

多くの生き物は川や田畑、林などの特定の環境や、季節とのつながりがあります。特にすんでいる場所との結びつきが深い種や、季節を感じられる種を尼崎市では「つながり種」と呼び、全部で88種を選んでいきます。



つながり種はみんなが知っている生き物や
見つけやすい生き物が多く選ばれているよ！

どんな場所や季節とつながりがあるのか考えながら
探してみよう！
マークの横につながりのある季節が書いてあるよ！



あまがさき しゅ けんさく
「尼崎のつながり種」で検索



かんきょう きせつ
カエルと環境・季節のつながり

カエルは、田んぼとのつながりが深い生き物です。生きていくためには、オタマジャクシがすめる水辺と、カエルがすめる陸地が必要で、その両方があるのが田んぼだからです。また、カエルは夏の初めごろに大きな声で一斉に鳴くことから、わたしたちに季節を感じさせてくれます。

あまがさき がいらいしゅ
尼崎の外来種

(例)



オオクチバス ▲
大きさ 30-50cm。繁殖力が強くなんでも食べるため、在来種を食べつくす。

このマークが付いている生き物だよ！



がいらいしゅ
●外来種とは

外来種とは、もともとその場所にはいなかったけれど、人が外国や他の地域から持ち込んですむようになった生き物です。

がいらいしゅ
○外来種が増えるとだめなの？

外来種の中には、もともとその場所にいた生き物（在来種）を食べたり、えさやすむ場所を奪ったりして、在来種を追いやってしまうものもあります。

外来種の中には、これ以上すむ場所を広げないように、法律でその場所から移動させることなどが禁止されている種もあります。



がいらいしゅ
外来種は捕まえても、持って帰ったりしないでね



ペットだったアライグマ・・・

ペットとして飼いきれなくなって野生へ逃げたアライグマは、数を増やし、畑を荒らして問題になっています。

か
飼えないからって
逃がしたら絶対にダメだね



で ■出かけてみよう (1) 公園

公園にいる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種

樹木のエリア



クスノキ
独特な香りを持つことから「臭し木」が名前の由来。



ケヤキ
街路樹などでよく見かける大きな木。木材としてもとても優秀。



ルリタテハ
大きさ 25-45mm。成虫は樹液や動物のフンにやってきて水分を吸うこともある。



メジロ◆
樹林環境を代表する種。大きさ 11cm ほど。体は黄緑色で目の周りが白い。



ツグミ
大きさ 24cm ほど。冬になるとシベリアから渡ってくる。木の実などを食べる。



道ばたのエリア



シャリンバイ
5月頃に梅に似た白い花が咲き、秋には黒い実をつける。街路樹にも多い。



セイヨウタンポポ▲
春に黄色い花が咲く。草原からコンクリートの隙間まで、いろんなところにはえる。



スズメ
大きさ 12-15cm。人の近くで生活するため、街中でもよく見かける。



クマゼミ
大きさ 60-70mm。西日本に多いセミで主に午前中に「シャアシャア…」と鳴く。



ナミテントウ
大きさ 5-8mm。同じ種類なのにいろんな模様がある。アブラムシを食べる。

いつも歩く通学路や公園で、生き物を探してみよう！
新しい出会いや発見があるかも♪



ショウジョウトンボ◆ (夏・秋)
大きさ 38-55mm。オスは全身真っ赤で、メスは茶色くて目立たない。



オオカマキリ◆ (秋)
大きさ 70-95mm。チョウやハチなどをとらえるため、花の近くで待つこともある。



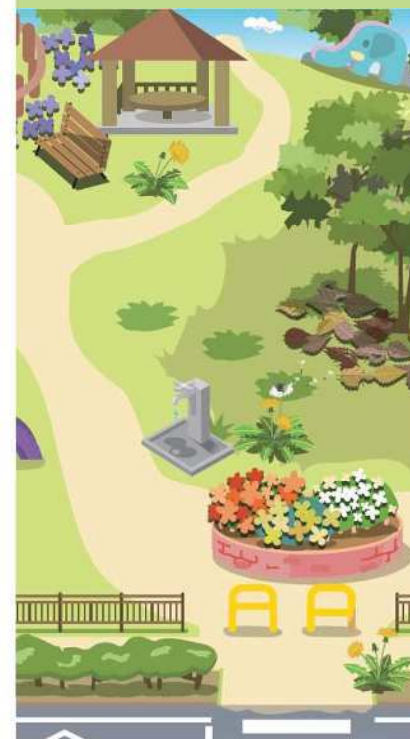
ショウリョウバッタ◆ (夏・秋)
大きさはオス 5cm、メス 15cm。メスは日本のバッタのなかで一番大きい。



スギナ◆ (春)
胞子を飛ばすため春に出てくるすがたは「ツクシ」と呼ばれ、食べられる。



チガヤ◆ (夏)
草地でよく見られる種。初夏にしつぽのような白い種をつける。



草地や花だんのエリア



モチツツジ
春にピンク色の花が咲く。虫などから守るため、葉や果実はベタベタしている。



コアオハナムグリ
大きさ 10-14mm。背中全体に毛がはえている。花に顔をいれて花粉を食べる。



キムネクマバチ◆
大きさ 20-25mm。枯れ枝や材木などに穴をあけて巣を作る。



アオスジアゲハ◆
大きさ 30-45mm。樹木や花のまわりをめまぐるしく飛び回る。



モンシロチョウ
幼虫はアブラナのなかまの葉を食べるため、キャベツにいることもある。

●公園での観察のやりかた

○服装・もちもの

長そで長ズボン、帽子、虫とり網、タオル、水筒、軍手、虫かご など



○熱中症にならないための約束

- ・帽子はかならずかぶること！
- ・こまめに水分をとること！
- ・日陰で休憩をとること！

○虫取りの技！



●危険な生き物に注意



危険な生き物を見かけたときは、絶対に近づいてはいけません！
もし刺されたり、噛まれたりしたら、すぐ大人に知らせて
病院でみてもらいましょう！



●尼崎 21世紀の森

尼崎の森中央緑地を中心に臨海部では、森と水が豊かで、自然と人が一緒になって生きていけるまちづくりを目指しています。

そこで、尼崎の森中央緑地では 100年かけて、昔から尼崎や阪神間にはえていた木々を植え、草地や湿地を作り、昔からいる生き物たちができるだけたくさんすめる生物多様性が豊かな森を作っています。



近くの山からタネを採ってきて森づくりを行っているのは、とても珍しい取り組みなんだよ！
緑化では日本一進んだ取り組みといわれているんだ



地域のタネから育てた苗を「地域性苗」っていうんだって！
地域性苗だから、尼崎に適した丈夫な森に育つね！



○活動の様子



森づくりだけでなく、私たちが自然と触れ合える場所や環境について学べる場所にもなっているんだね。
楽しそうだなあ！私もいつか来ようかな！

【問い合わせ先】

「兵庫県立尼崎の森中央緑地」で検索



で 出かけてみよう (2) 川

むこうがわ
武庫川



武庫川は、丹波篠山市を水源地とし、三田市や宝塚市、尼崎市などを通して、大阪湾に流れています。

川にいる生き物

●：希少種 ◆：つながり種 ▲：外来種



イカルチドリ●
大きさ 19-21cm。春から夏にかけて、川原で子育てをする。



カワセミ◆
水辺環境を代表する種。大きさ17cmほど。鮮やかな青の体色が美しい。



カワラサイコ●
日当たりのよい河原の乾いた砂地でみられる。6月～8月に黄色い花が咲く。



オオカワヂシャ▲
カワヂシャによく似ているが、葉のふちのギザギザは小さく目立たない。



カワヂシャ●
川の他に、水田や水路などにもはえる。葉のふちはギザギザしている。



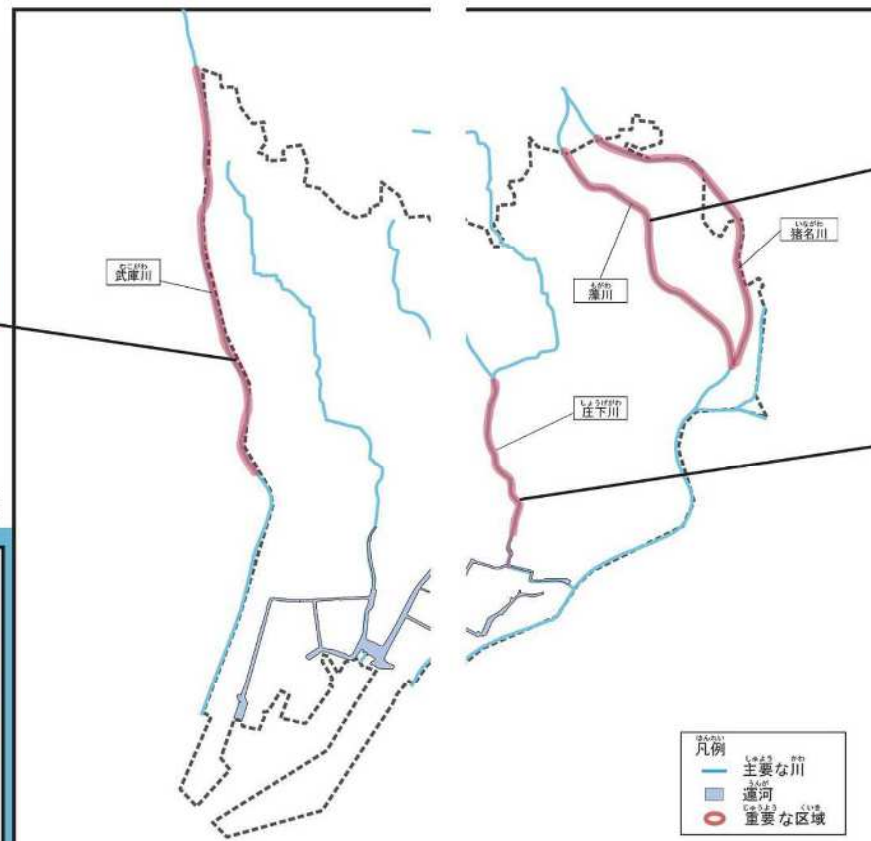
シオカラトンボ◆
大きさ 50-55mm。オスは水色で、メスは黄色く「ムギワラトンボ」とも呼ばれる。



ヒメボタル◆(春)
大きさ 6-9mm。陸生のホタルで、幼虫は陸の貝のなかまを食べる。



ツマキチョウ◆(春)
大きさ 20-30mm。春にだけ現れる。とがったはね先が黄色いとオス。



いながわ もがわ
猪名川・藻川



猪名川は、川辺郡猪名川町を水源地とし、猪名川町、伊丹市、尼崎市などを通して大阪湾に流れています。途中で藻川に分かれ、そのあと合流します。

しょうげがわ
庄下川



庄下川は、様々な支流からできた川で、尼崎市の中心を流れて大阪湾に流れています。



カワニナ◆
大きさ 30mm ほど。流れの穏やかな川を好み、汚い川にはすめない。



スジエビ◆
水域でよく見られる種。大きさ 50mm。体色は透明で、非常に肉食性が強い。



アメリカザリガニ▲
大きさ 100-150mm。水草を切ったり在来種を食べて、生態系を荒らす。



モクズガニ◆
川と海を行き来する種。大きさ 40-80mm。ハサミに毛が密にはえている。



ミシシippアカミガメ▲
昔ミドリガメとして売られていたものが野生化。生態系への影響が大きい。



アユ◆(夏・秋)
大きさ 10-30cm。春から夏にかけて川を遡る姿がみられる。



ミナミメダカ◆
大きさ 40mm。川のほかに水田や周辺の農業用水路にも生息している。



オオクチバス▲
大きさ 30-50cm。繁殖力が強くなんでも食べるため、在来種を食べつくす。

●川での観察のやりかた

○服装・もちもの

長靴、ライフジャケット、タオル、水筒、軍手、きんぎょ網 など



○川で遊ぶときの約束

- ・必ず大人の人と一緒にいくこと！
- ・雨が降っている日や、雨の後など
川の水が増えているときは近づかない！
- ・裸足で水辺に入らないこと！

○川の生き物探しの技！



●川の生き物を守るために

○近自然工法

川をできるだけ自然に近い状態にする技術を使って、川を整備しています。
庄下川の一部では、水をきれいにするために川の底や岸に石を置いたりして、自然に近い川にする整備を行いました。その結果、生き物がすみやすくなり、水がきれいになったり、生き物の種類が増えたりしました。



○アユの産卵場所を守る取り組み



猪名川ではアユの産卵場所やその周辺で、川の底に埋まっている石を掘り起こし、川底の石を動きやすくし、アユがより産卵しやすい環境づくりを行っています。



●尼崎でもヒメボタルが見られる？

尼崎でも昔はたくさんヒメボタルが飛びかっていたいましたが、今では幼虫が好むしめりけの多い林や草地は少なくなってしまう、数が減ってしまいました。今は農業公園、猪名川や藻川の河川敷周辺でヒメボタルを見ることができます。

○ゲンジボタルと比べて、ヒメボタルってこんなホタル！

①陸の上で暮らす

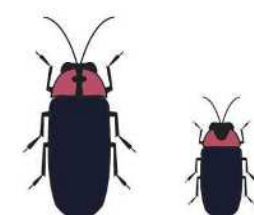
ゲンジボタルの幼虫：水中
ヒメボタルの幼虫：落ち葉の下
ヒメボタルの幼虫は陸上にすむ貝の仲間を食べており、農業公園ではキセルガイ類がエサになっています。



キセルガイ類

②サイズが小さい

ゲンジボタル：12-17mm
ヒメボタル：6-9mm
ヒメボタルは1cm未満の小さなホタルです。



ゲンジボタル ヒメボタル

③光りかたが素早い

ゲンジボタル：2秒に1回長く光る
ヒメボタル：1秒に2回フラッシュのように光る



ゲンジボタルの光り方



ヒメボタルの光り方

ゲンジボタルとヒメボタルは色はよく似ているけれど、背中にある模様で見分けられるよ！



5月中旬から6月上旬ごろに光っている姿が見られるよ！みんな会いに来てね～！



で ■出かけてみよう (3) 河畔林

● 河畔林にいる生き物

●：希少種 ◆：つながり種 ▲：外来種



ヤブニッケイ
葉がよく茂るため公園のほか、自衛し
目的で庭などにも植えらる。



アキノレ
湿地や河原に多い。ニレの木なかでも
秋に花が咲くことが名前の由来。



ムクノキ◆(秋)
公園などでもよく見られる。秋になると
黒紫色に熟す実は甘味がある。



エノキ◆(秋)
昔から「縁の木」とされ、日本各地の
神社で御神木としても大切にされてきた。



ミサゴ●
大きさ 63cm ほどのタカ。魚を好んで
食べ、空中から急降下して魚をとる。



シジウカラ◆
大きさ 14cm。『ツービツービ』など 20
種類ほどある鳴き声を使い分けている。



エンマコオロギ◆(秋)
大きさ 25-30mm。秋、成虫のオスは「コ
コロリリリー」と鳴く。



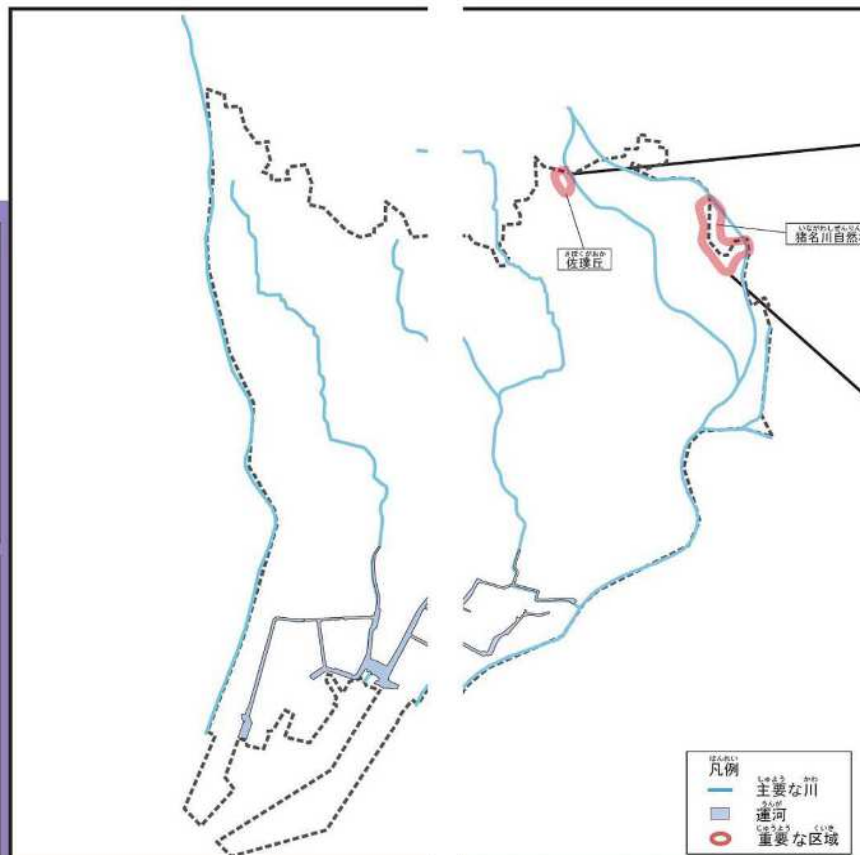
ツバメ◆(春・夏)
大きさ 17cm。春に日本へやってきて、
家の軒下など、人の近くで子育てをする。



ヒヨドリ
大きさ 27cm ほど。甘いものを好み、虫
の他に花の蜜や果実なども食べる。



ツクツクボウシ
大きさ 30mm ほど。鳴き声が「ツクツク
ボーシ」と聞こえるのが名前の由来。



凡例
— 主要な川
— 運河
○ 重要な区域

さぼくがおか 佐璞丘



藻川の西側にあり、エノキやム
クノキからなる樹林として今で
も残っています。
厄崎で昔の自然の姿が残って
いる場所のひとつです。

いながわしぜんりん 猪名川自然林



猪名川の旧堤防に存在していた
エノキやムクノキ林です。
昭和40年代の河川工事によっ
てなくなる予定でしたが、市民
の声の高まりにより自然林とし
て残されています。



ゴマダラチョウ◆
大きさ 70mm ほど。樹液によくやってく
る。幼虫は落ち葉の中で冬を越す。



コクワガタ●◆
大きさ 20-58mm。数が多く平地の公園か
ら山林まで様々な環境でみられる。



ニホンヤモリ●◆(夏)
大きさ 10-14cm。夜行性で、灯りに集ま
る虫を食べにくることもある。



アゲハ
大きさ 40-60mm。春生まれより、夏生ま
れの成虫の方が大きくて黒っぽい。



チビクワガタ●
大きさ 11-16mm。一見クワガタに見えな
い姿だが、小さいアゴがちゃんとある。



ニホンカナヘビ◆(夏)
大きさ 18-25cm。晴れた日は石や枝の上
で日向ぼっこをする姿が見られる。

●河畔林とは

○河畔林の成り立ち

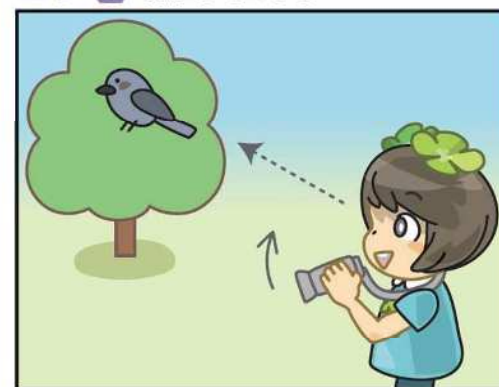


●バードウォッチング

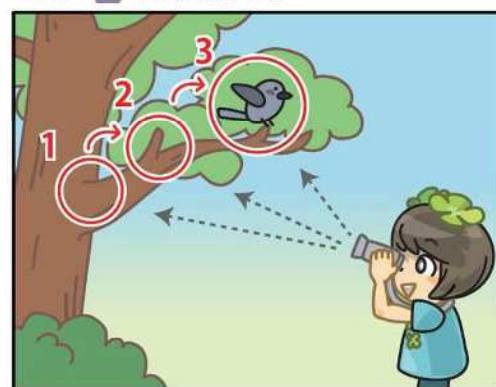
双眼鏡を持って鳥をさがしてみよう。

○双眼鏡の使い方

コツ① 視線はそのまま



コツ② 目印を決める



○猪名川自然林のこれから

川に挟まれた尼崎には昔からエノキやムクノキがたくさんあって、河畔林以外の場所にもはえていることがあるよ！



●自然と文化の森協会

尼崎市と自然と文化の森協会は、猪名川自然林を含めた猪名川や藻川周辺で自然観察会や環境体験学習をしたり、林の手入れをしたりしています。



○猪名川キッズクラブ

自然の中で楽しみたい！自然を知りたい！と思ったら、家族と一緒に猪名川キッズクラブに登録してみよう！

【問い合わせ先】

「猪名川キッズクラブ」で検索



で ■出かけてみよう (4) 田畑

●田畑にいる生き物

●：希少種 ◆：つながり種 ▲：外来種



ヒメミズワラビ ●
水中や湿地にはえるが、農業や除草剤などの影響で数を減らしている。



ヒメミソハギ ●
外来種との競争や湿地の埋め立て、農業の影響などで数が減っている。



アキアカネ ●◆(秋)
大きさ 33-46mm。平地で生まれ、夏は涼しい山地で暮らし、秋にまた戻ってくる。



ムクドリ
大きさ24cmほど。夜になると集団になり、林や街路樹などで眠る。



ヒバリ ●
大きさ 17cm。オスはなわばりを宣言する時、さえずりながら高く上昇する。



ニホンアマガエル ◆(夏)
大きさ 20-45mm。緑や灰色など、環境の色に合わせ体の色を変化させる。

●あまがさき 伝統野菜 ●尼崎の伝統野菜



ニ諸
新田地帯（臨海地域）で昔盛んに作られていたサツマイモ。1950年のジェーン台風で全てなくなりましたが、復活に向けての取り組みが行われました。



富松一寸ソラマメ
武庫や富松の土地にできる一寸(3.3cm)ほどの大きなソラマメ。ソラマメは同じ場所で続けて栽培ができないうえに、農地や農家が激減しているため幻の豆となっています。



田能の里芋
田能地区で栽培されているサトイモ。独自の栽培法により大量に収穫できないため、市場に出回ることがない貴重なサトイモとなっています。

○あまやさい



あまがさきで生産されたやさしい略して「あまやさい」。「あまやさい」のマークが入った野菜は尼崎市の農家さんが心を込めて作った安心で安全な新鮮野菜の目印です。

このマーク直売所や朝市で見たことあるよ！
地元の農家さんが作ってくれた野菜
おいしかったなあ



○ちさんちしょう ○地産地消

尼崎市の学校給食の食材は、牛乳は主に兵庫県産、米や野菜は季節によっては尼崎市産のものを取り入れています。



献立の産地は給食室で紹介しているよ
今日はどの食材かな？みてみよう！



●ぶんか せいぶつたようせい ●文化としての生物多様性



伝統野菜である「尼諸」を氏神様のきふねさんに奉納するお祭り。
祭当日は、焼き芋などが販売されます。



伝統野菜である「富松一寸豆」を富松神社に奉納し、地域の発展を祈願するお祭り。
祭当日は、塩茹でしたソラマメの試食会や豆飛ばしコンテスト、即売会などが行われます。

■出かけてみよう (5) 水路

●水路にいる生き物

●：希少種 ◆：つながり種 ▲：外来種



デンジソウ ●
葉が漢字の「田」に見えることが名前の由来。開発や汚染で減っている。



ハグロトンボ ◆ (夏)
大きさ 57-67mm。チョウのようにひらひらと舞うように羽ばたく。



アメンボ ◆
大きさ 11-16mm。足先の毛の表面張力を利用して水面に浮かんでいる。

■出かけてみよう (6) 海・運河

●海・運河にいる生き物

●：希少種 ◆：つながり種 ▲：外来種



ユリカモメ ◆ (冬)
冬場に河口周辺で見られる種。大きさ 40cm ほどで、屋間は池や川にも現れる。



ホシハジロ ◆ (冬)
大きさ 40cm ほど。冬になると渡ってくる。水中に潜って水草を食べる。



スズキ ◆ (冬)
河口・海環境を代表する種。大きさ 20-60cm。大きさを呼名が変わる出世魚。

●海釣りを楽しもう

○尼崎市立魚釣り公園



【問い合わせ先】

あまがさきしりつうお こうえん
「尼崎市立魚釣り公園」で検索 🔍

あまがさきしりつうお こうえん
尼崎市立魚釣り公園では釣りをすることができます。
初めての人には、釣りのやり方を教えてくれたり、レンタル竿の用意や売店での仕掛けやえさの販売もしているため、手ぶらで釣りに来ることができます！また釣り大会や、期間限定のバーベキューなど様々なイベントも開催しています。



●水路の役割

あまがさきしりつうお こうえん
尼崎市内の様々な場所に、水路が通っています。水路は農業用水路として農業で使う水を運んだり、地上に降った雨を安全に海まで流す役割があります。

また、ホタルやトンボの幼虫、魚など生き物のすみかにもなっています。



にしきこうえん
西武庫公園まわりの水路を飛ぶゲンジボタル



●運河の役割

南部の工業地帯の物流を支えるとともに、海より低い土地が多い尼崎に海水が流れこまないよう水門を設置したり、ポンプで水を吸い出したりしています。

○水質浄化の取り組み

運河の水は窒素などの栄養や植物プランクトンが多くなっています。栄養やプランクトンは多すぎるとヘドロ発生の原因となるため、生き物の力を使って水をきれいにする取り組みが行われています。



※コウロエンカワヒバリガイは、外来種ですが昔から運河にすんでいたため、水質浄化に活用しています。



生き物の力を借りて、水をきれいにしているんだね



で
■出かけてみよう
あまがさき み い もの
● 尼崎で見られる生き物



ドクダミ

公園や庭などの湿った場所によく生える。夏に咲く白い花は独特なおいがある。



ヒガンバナ◆(秋)

田畑に多く、秋に赤色の花が咲く。花が枯れたあとに葉が出てくる。



ユキヤナギ◆(春)

公園に多く、春には垂れ下がった枝に白い花がたくさん咲く。



アラカシ◆(秋)

樹林環境を代表する種。秋には、たてじま模様の小さなどんぐりができる。



シラカシ

木材にすると白いのが名前の由来。帽子に横じま模様があるどんぐりができる。



ヤマモモ◆(夏)

公園などにも植えられる。夏にできる赤い実は食べることができ、甘酸っぱい。



アカメガシワ

春に出る新しい若葉が赤いことが名前の由来。日の当たる場所に多い。



キンモクセイ◆(秋)

庭などにも多く、秋に咲くオレンジ色の花は強い香りがする。



hotoke noza◆(春)

春に赤紫色の花が咲く。日当たりのいい場所では一面に広がることもある。



ニホンウナギ◆

川と海を行き来する種。乱獲や河川の整備の影響などで数が減っている。



オイカワ

大きさ 15cm。繁殖期のオスは色鮮やかになる。川の流れの早いところを好む。



ドジョウ◆

水辺でよく見られる種。大きさ20cmほど。口のまわりのヒゲは全部で10本ある。

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種



カワラバト▲

大きさ30cmほど。よく目にする鳥。昔は伝書鳩としても使われていた。



ウグイス

大きさ15cmほど。「ホーホケキョ」とさえずり、冬は「チャッチャツ」と鳴く。



コゲラ◆

大きさ15cm。河川でよく見られる種。日本で一番身近で、一番小さなキツツキ。



マガモ◆(冬)

大きさ 50-65cm。冬に渡ってくる。オスの頭は緑色でメスは体全体が茶色い。



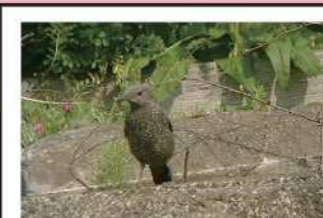
オオシキリ◆(夏)

大きさ17-19cm。ヨシ原でよく見られる種。夏に「ギョシギョシ」と鋭く鳴く。



アオサギ

大きさ88-98cm。河川でよく見られる種。じっと立ってえものの魚などを待つ。



イトヒヨドリ◆

大きさ 23cm ほど。メスは灰色のまだら模様、オスは青と赤で鮮やか。



ハクセキレイ◆

大きさ 20cm ほど。水辺でよく見られる種。えさを探しながら速足で歩く。



カワウ

大きさ80cmほど。水に潜って魚をとる。川だけでなく、海や池にも現れる。



ナマズ◆

水辺でよく見られる種。大きさ60cmほど。ひげは成長すると6本から4本になる。



ボラ◆(春)

河口・海でよく見られる種。大きさ50cmほど。大群になり川を遡ることがある。



カダヤシ▲

大きさ30-50mm。メダカとは尾びれと尻びれの形の違いで見分けられる。

あまがさき み い もの
● 尼崎で見られる生き物



ヒゲジロハサミムシ
大きさ 16-25mm。力が強く、ハサミを使ってえものをとらえて食べる。



トノサマバッタ ◆ (夏・秋)
大きさ 35-65mm。河川敷や公園など明るい草地で見られる。羽音をたてて飛ぶ。



アブラゼミ ◆ (夏)
大きさ 56-60mm。夏に「ジー」と鳴く。はねに色のあるゼミは世界でも珍しい。



キマダラセセリ
大きさ 13-17mm。河川敷などにある草原を好み、花から花へ素早く飛び回る。



キタテハ
大きさ 22-34mm。はねを閉じると茶色く枯れ葉の中ではみつけにくい。



キアゲハ
大きさ 90mm ほど。アゲハより黄色く、幼虫もセリのなかまの葉を食べる。



カブトムシ ◆ (夏)
大きさ 30-85mm。猪名川自然林でよく見られる種。オスには長いツノがある。



タマムシ ◆ (夏)
大きさ 30-40mm。夏の暑い時間に活動する。緑と赤の金属のような色が鮮やか。



アオイトトンボ
大きさ 34-48mm。成熟すると複眼は青くなり、体には白い粉がつく。



マツモムシ ◆
大きさ 11-14mm。池などで見られる種。水面近くを背泳ぎで泳ぐ。



テナガエビ ◆
瀬川でよく見られる種。大きさ 90mm ほど。2本の長いあしが特長。



タイコウチ
大きさ 30-50mm。浅い池などで見られる種。かま状の前あしで魚などをとらえる。

●：希少種 ◆：つながり種 ▲：外来種



ニホントカゲ ●
大きさ 16-25cm。自分で尻尾を切って逃げることがあり、尻尾はしばらく動く。



カヤネズミ ●
大きさ 60mm ほど。ススキなどの葉で丸い巣を作る。日本で一番小さなネズミ。



ウシガエル ▲
大きさ 11-18cm。夜行性で、「モーモー」と牛のような声で鳴くのが名前の由来。



ヌマガエル ◆ (夏)
大きさ 30-50mm。腹側は白い。水田を代表する種だが、畑や草原などにもいる。



ニホンイシガメ ◆ (夏)
大きさ 14-20cm。水辺でよく見られる種。環境破壊などにより減少している。



ヌートリア ▲
大きさ 40-60cm。農業や生態系への影響が問題になっている。泳ぐのが得意。

かんきょうによって見られる生き物も違うんだね！
いろいろな生き物を探して、調べてみようかな

かんきょう 環境

かんきょう 希少種も外来種も
まずは知ることからはじめてみよう！

あまがさき しぜん
尼崎の自然ハンドブック

令和 6年 3月

発行：尼崎市 経済環境局 環境部 環境創造課

TEL：06-6489-6301

FAX：06-6489-6300

生き物観察シート

種名

ねん 年 がつ 月 にち 日 ようび 曜日 (あさ 朝 ひる 昼 ゆう 夕 よる 夜) てんき 天気

気付いたことや観察したことをかいてみよう

1cm

いろ 色

かたち 形

おお 大きさ

み 見つけた場所

き 気づいたこと

しら 調べたこと